

ら しん ばん 羅針盤

進路だより
令和3年9月29日
第 3 号
文責 中 根

コロナ禍でも、進路の動きは変わらず

夏の茹だるような暑さも過ぎ去り、気がつけば朝晩の気温の低さに身震いする季節となりました。これからは、さらに日の落ちる時間が早まり、紅葉の色づきが濃さを増す時期と移り変わって行くでしょう。さて、そのような時期を迎え、現在3年生は就職希望者を先頭に進路実現に向けて忙しく過ごす日々が続いています。

9月16日に就職解禁日を迎え、就職希望者は一斉に就職試験へと向かいました。大変緊張の中での試験だったと思いますが、もうすでにいくつかの企業から内定の案内が来ている状況でもあります。一方の進学希望者については、専門学校のアオ出願が9月1日から開始され、そろそろ可否結果が自宅に届く時期だと思っています。また、学校等からの推薦を受けて出願する生徒は10月1日からの正式出願開始に合わせて出願書類の準備に追われていることと思います。まさに就職希望者も進学希望者も、進路決定に向けた大切な時期となっています。

大学志望者(総合型利用)は、これからのオープンキャンパスが大事！

専門学校、就職受験者が受験に動いている中で、大学志望者はこれからが本番です。とくに総合型選抜による出願を希望している生徒については、当然わかっていることと思いますが、これから行われる志望大学でのオープンキャンパスはとても重要です。それはなぜかという、総合型選抜にむけた試験の詳細事項や可否の見極めとなるポイント、面接や提出課題のヒントなど合格に向けたアプローチを示してくれるからです。この時期のオープンキャンパスに参加しないで総合型選抜に向かうことは「合格する気持ちがない！」と言っても過言ではありません。まさか「知らなかった・・・」という総合型選抜志望の受験生はいないとは思いますが、念のため伝えておきます。それと、1・2年生についてはこのことをよく知っておいてほしいと思いますし、気になる大学・短大・専門学校があれば、この時期のオープンキャンパス参加はオススメです。

また近年、総合型選抜や学校推薦型選抜（公募制）では小論文と面接（口頭試問）、志望理由書の内容が重視される傾向にあります。これまでの翔陽生の特徴として筆者が感じるのは、面接は割と得意で自分の考えや意思を伝えることは出来るのだけれども、小論文や志望理由書が思うように書けず残念な結果となる生徒が多い、ということです。その対策として、現在1年次から様々な場面で感想文やレポートなどを「翔ノート」などを通して書かせる取り組みを行っていますが、その力が必要となるのは3年生のこの時期です。日頃の「国語」や「産社」・「総学」・「課題研究」の授業を疎かにせず、様々な体験や課題を分析し考える力を身につけて、来る本番に向けた「書ける力」と「話せる力」をつけておいてもらいたいと思います。

卒業生 合格体験記

北海道職員 教育行政B区分 18期生 森 翔悟 さん

私は高校3年間、吹奏楽局に所属していました。2年生の10月からは局長にも任命され、朝から夜まで練習に励んでいました。また、私の進路希望は公務員でした。公務員は一次試験に筆記テストがあり、簡単には合格できません。そのため、私は部活動と勉強の両立をしていく必要がありました。受験勉強は科目選択の関係で、日頃の授業とは別に公務員試験のための知識を自分で身につけていく必要がありました。

平日は授業と部活、休日は朝から晩まで部活、そのような生活だったので、隙間時間を上手く利用して受験勉強をしました。正直、勉強は嫌いだし辛かったです。部活動で疲れ切っていても勉強しなければならなかった日々は過酷な毎日でした。だからといってどっかを疎かにすることは自分のプライドが許しませんでした。

～ 中 略 ～
そして全てを全力で取り組んだ結果、1次試験は受験した3事業所（道職員・小樽市・石狩町村）とも合格し、最終的に第1志望だった北海道職員に合格することが出来ました。

もし公務員希望者で部活をやっている人たちは、全てのことを最後までやり遂げることを大切にしてほしいです。私は部活を理由にして勉強の手を抜くことはしませんでした。反対も同様です。もし時間がなければ、作ればいだけです。朝や夜、授業の間の時間などを有効活用してみてください。

道内の公務員試験を目指した取り組みや事前の準備、アドバイスなどは「進路ガイダンス 2021」の124ページに掲載されています。全文を読みたい人はぜひ、そちらを読んでみてください。

石狩市就職支援セミナー 就職試験内定に向けて

去る9月7日、就職志望の3年生を対象に石狩市就職支援セミナーが翔陽高校で行われました。例年だと石狩市内の公共施設などで開催される行事でしたが、今年度はコロナ感染症対策もあり、学校内での実施となりました。外部講師にジェニユインバリュの窪田様をお招きし、就職試験に向けた心構えや事前準備、コミュニケーション力向上に向けた様々なプログラムを行いました。感染症対策の一環として会場を2つに分け、片方の会場ではリモート映像を介して話を聴きました。午後からは実際の本番を想定した面接練習が行われました。参加した3年生は本番さながらの緊張感と講師の方や面接担当の方からのアドバイスに真剣な表情で聞き入る様子が見られました。

